

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
78

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和6年12月20日発行)

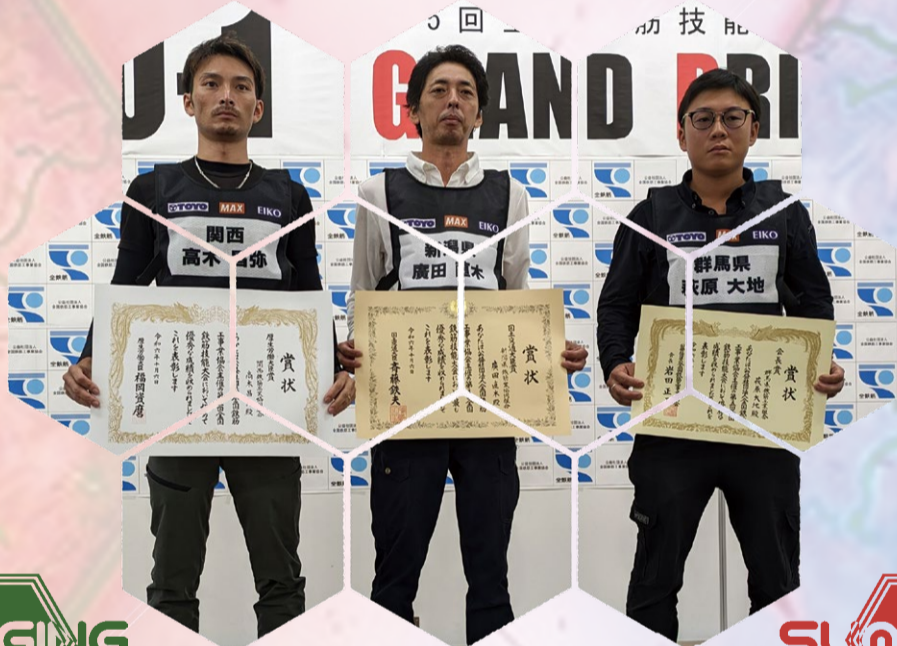
WINTER 2024

TETSU-1 GRAND PRIX 第5回 全国鉄筋技能大会

COMPETITION

10月6日、全国鉄筋工事業協会（岩田正吾会長）が主催する第5回「TETSU-1 GRAND PRIX」が静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで開催され、日本全国から選ばれた鉄筋工の精鋭35名が腕を競い合いました。

今回、優勝を果たし国土交通大臣賞を受賞したのは、新潟県鉄筋業協同組合の廣田直木選手（佐藤鉄筋）でした。準優勝は関西鉄筋工業協同組合の高木昌弥選手（KANO CENTER）、第3位には群馬県鉄筋工業組合の萩原大地選手（小棕工業）が入賞しました。



HIGHLIGHTS

大会は、全国各地の予選を勝ち抜いた選手が集まり、国家技能検定鉄筋組み立て1級の課題にさらに難易度を加えたものを競技する形で、技術の精度と作業時間の速さが評価基準となりました。競技は午前と午後の2回に分かれ、標準時間1時間20分が設定されていましたが、上位選手たちは1時間以内で組み立てを終えるハイレベルな戦いとなりました。大会関係者によると、年を追うごとに競技の組み立てスピードが上がっており、今回は「組み立ての精度」が勝敗を左右したとのことでした。

JUDGING

廣田選手は3度目の挑戦で見事優勝を勝ち取り、「緊張のあまり最初は手が震えたが、終わった時には手応えがあった。これが最後の挑戦と決めていたので非常に嬉しい」と喜びを語りました。

また、廣田選手は今後も現場で技術を磨き続けたいと抱負を述べました。

SUMMARY

閉会式で岩田会長は、建設業界でのキャリアアップや労働環境の「見える化」の重要性に触れ、「皆さんも技量をさらに磨き、再度この大会に挑んでほしい」と選手たちを激励しました。大会の様子はYouTubeでライブ配信され、視聴者も日本一の鉄筋工を目指す熱い戦いを見届けることができました。

組合紹介

大分県鉄筋工事業協同組合

大分県は、九州地方に位置する県で、美しい自然景観と豊かな温泉資源で知られています。特徴としては先ずは温泉です。「おんせん県」としてご当地ナンバーにも湯煙の温泉マークを採用するくらいです。別府温泉や湯布院温泉は全国的に有名で多くの観光客が訪れます。レジャーでは阿蘇くじゅう国立公園をはじめ、雄大な自然が広がっています。高崎山自然動物園では、野生のニホンザルを見ることができ、文化では古くからの歴史と文化があり大分市にある大分城は江戸時代の歴史を感じさせる場所です。また杵築市には武家屋敷が立ち並び、江戸時代の風景がそのまま残っています。食文化では大分県は魅力的な食べ物が多くあり、豊後牛や関サバ・関アジといった新鮮な海産物は絶品です。また、大分県はからあげ発祥の地としても知られており「中津からあげ」「宇佐からあげ」と多くのからあげ専門店があります。マスコミ・TVなどで取材を受け全国放送で何度も紹介されています。これらの特徴から、大分県は観光地としても非常に人気があります。さて当組合は大分県内の鉄筋工事業が集まり組合員15社・賛助会員3社で活動しています。この組合は会員企業が互いに協力し合い、技術向上や安全管理、効率的な施工を目指しています。地域社会との連携も重視しており地元のインフラ整備や災害復旧などにも積極的に取り組んでいます。近年では自然災害が大分でも発生しており地震・水害等で被災されている地域もあります。当組合は今年大分県の「連合・型枠組合と共に大分県で初めての取り組みとして」駆体三役チャリティーコンペを開催して県庁の災害対策に寄付をいたしました。さらに今年度中に大分県鉄筋工事業協同組合として「事業継続力強化計画」を組合員全員参加で申請し認定団体を目指しています。全国の会員事業所の皆様これからも宜しくお願いいたします。

令和六年度秋季定例会(雇用改善推進会議)

令和六年十一月八日(金)名古屋クラウンホテル

A. 定例会報告

- 一. 開会の辞
二. 会長挨拶
三. 来賓祝辞・挨拶
四. 叙勲・褒章受章者、並びに国土交通大臣表彰受賞者のご紹介
(1)各事業委員会報告
経営委員会
技術委員会
教育訓練委員会
外国人受入事業委員会
広報委員会

- 副会長 新妻 尚祐
会長 岩田 正吾
副会長 宮村 博良
副会長 新妻 尚祐
専務理事 小寺洋志裕
常任理事 飛田 良樹
代表幹事 熊谷 達人
就労調査WG 佐々木善弘
事務局長 澤田恵美子
尾崎 満留
尾崎 満留
平田 研 様
飯島 勉
飯島 勉

B. 講演

- テーマ「最近の建設産業行政の動向」
国土交通省 不動産・建設経済局長 平田 研 様
副会長 飯島 勉

他業種連携し地域単位で政策提言を
全鉄筋 名古屋市で秋季定例会
選ばれる市場へ業界リード

全国鉄筋工事業協会(全鉄筋、岩田正吾会長)は8日、2024年度秋季定例



会(雇用改善推進会議)を名古屋市の名古屋クラウンホテルで開いた。全国の団体幹部ら計約180人が出席するとともに、ウェブでの参加団体もあった。経営、技術、教育訓練、外国人受け入れ事業、広報、労務、建設キャリアアップシステム(CCUS)企業評価事業の各委員会の委員長が最近の活動状況や今後の重点施策などを説明した。冒頭、岩田会長は「鉄筋と型枠を標準労務費の先行業種として深い議論がこれから始まり、われわれの問題点をしっかりと伝えていく」と述べるとともに、職人の処遇改善を進める過程で「労務費をたたいて利益

各委員会活動では▽鉄筋技能士学科試験問題集のeラーニング化▽登録基幹技能者講習の日程▽技能実習生・特定技能外国人材の受け入れ状況▽技術研さんのためのマッチング支援システムの運用状況▽CCUSに関する調査▽創立60周年



記念式典(25年10月1日、リールガロイヤルホテル大阪)の開催など各種課題や活動目標への対応状況が報告された。
会議に続いて、国土交通省不動産・建設経済局長の平田研局長が「最近の建設産業行政の動向」をテーマに講演した。

第33回 (公社)全国鉄筋工事業協会青年部雇用改善全国連絡会議開催報告

北海道鉄筋業協同組合青年部部長、全鉄筋北海道幹事を務めさせて頂いておられます。丸正誠伸興業(株)熊谷達人と申します。よろしくお願ひ致します。そして常日頃、青年部の活動にご参加、ご理解頂き誠にありがとうございます。
10月25日、北海道札幌市のホテルモントレーエーデルホフ札幌にて(公社)全国鉄筋工事業協会 雇用改善 青年部連絡会議を開催致しました。今回の連絡会議にはご多忙の中、岩田会長様、青年部担当理事であり、北海道鉄筋業協同組合理事長でもあります熊谷誠一様にも現地にて出席して頂き心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
そして、「被害額調査から読み解くサイバー攻撃の備え」を講演下さった株式会社FRFリーセキエリテイ社長室長 前田典彦様、「新規入職者が離職しない為の建設業におけるパワハラ・セクハラ講座」としてご講演下さった北海道観光大使・フリーアナウンサー・講師 青山千景様、私達の為にお忙しい中お時間を割って頂き誠にありがとうございます。

会議がはじまり、岩田会長よりお言葉頂きました。今の日本の建設業の世界から見た現状や日本と海外の建設業従事者への待遇の違い、今の日本の建設業界は決して上位ではない。海外を見て、良い所は取り入れていきたいと思います。海外の良い所を学び、共有していく努力をしていかななくてはならない事の大切さをお教え頂きました。外国人実習生の面接希望者低下もこういった事から海外との待遇の差で減少して来ている事に繋がって来ているのかと思ひ知らされました。
続きまして熊谷担当理事からは標準見積書の運用の再確認、CCUSの登録、理解についてお話を頂きました。標準見積書を使用していない、又はCCUSに登録していない作業員のレベル判定も受けていない。全鉄筋一丸となつて行っている取り組みに参加してない事業所が何を困っても誰も手を差し伸べてくれない。やるべき事をやって全鉄筋一丸となつて取り組んで行きましょう。と、お話を下さいました。

岩田会長、熊谷担当理事のお話の中で共通して色々な手段、手法を用いて自分達の持っている技術を提供する対価、権利の主張をし、獲得していく事で海外レベルの待遇を獲得出来る事に繋がって行くんだという事を学ばせて頂きました。
続きまして前田様のご講演下さった「被害額調査から読み解くサイバー攻撃の備え」です。昨今、積算ソフトの導入やBIM・CIM、拾い出し、書類作成、数量管理と本場に便利なパソコン。正確性、時間短縮と無くてはならない存在になっていきます。前田先生のお話を聞いていくうちに、確かに簡単に使用できる分、簡単に侵入できるのも確かになりました。その他メールによる「なりすまし」による詐欺のお話など教えて頂きました。今やパソコン、携帯には決済機能、クレジットカードの情報まで入力している方も大勢います。知らないうちにデータを抜かれて使用されている事を考えたらゾッとします。前田先生にはこういったインターネットからのサイバー攻撃で不正使用されてしまった時にどのような対策をしておけばいいのかまた被害にあった場合どうすればいいのかを実際に起こった事例を例に勉強させて頂きました。

続いて出向(応援)制度とCCUSについてランダムにグループになって頂き2つの項目について意見を出し合いました。
まずは出向(応援)制度についてです。各県の皆様に常用単価とは違い業者同士でやり取りする単価として話していました。各県で出向単価の違いは理解していますが各県の今ある単価をもとに考えて頂き、現状の単価を維持したいのか、下げないと困難なのか、上げた方がいいのか意見を頂きました。意見としては、高ければそれを元に請負単価上昇の交渉項目になり給与上昇にも貢献できますが、その分他県からの低単価業者やアウトサイダーの介入、同業者との単価競争を仕向けられる恐れが大きくなってしまふ。一方低価格で設定すれば出向のやり取りで低コスト化になり、やりとりがしやすくなるが他地域からは来てもらえ

ない。と、お話を下さいました。
続きまして熊谷担当理事からは標準見積書の運用の再確認、CCUSの登録、理解についてお話を頂きました。標準見積書を使用していない、又はCCUSに登録していない作業員のレベル判定も受けていない。全鉄筋一丸となつて行っている取り組みに参加してない事業所が何を困っても誰も手を差し伸べてくれない。やるべき事をやって全鉄筋一丸となつて取り組んで行きましょう。と、お話を下さいました。



(公社)全国鉄筋工事業協会 副会長
福岡県鉄筋事業協同組合 理事長
株式会社宮村鉄筋工業 代表取締役会長
宮村 博良 様



(公社)全国鉄筋工事業協会 副会長
東京都鉄筋業協同組合 理事長
新妻鋼業株式会社 代表取締役
新妻 尚祐 様



(公社)全国鉄筋工事業協会 前副会長
福岡県鉄筋事業協同組合 理事相談役
株式会社清進工業 代表取締役
篠森 義晴 様

令和6年度 秋の褒章受章者
叙勲 旭日双光章

令和6年度 顕彰

国土交通省は10月18日、東京都千代田区の有楽町よみうりホールで建設マスター（優秀施工者国土交通大臣顕彰）と建設ジュニアマスター（青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰）の2024年度顕彰式典を開き、計573人を優秀な技能者として表彰し、その栄誉をたたえた。

建設マスターは、現場経験20年以上で優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成にも貢献した技能者452人が選ばれました。建設ジュニアマスターは、現場経験10年以上の39歳以下の技能者を対象とし、今後さらなる活躍が期待される青年技能者を顕彰することで、次世代の担い手の確保・育成に役立てることを目的に創設され、121人を建設ジュニアマスターとして顕彰した。

全鉄筋が推薦した建設マスター受賞者は9名、ジュニアマスター受賞者は4名の皆様には、国土交通省大臣顕彰式前に全鉄筋祝賀会を開催し、飯島副会長（教育訓練委員長）よりその功績を称えるご祝辞とお祝い金を贈呈致しました。

顕彰者の皆様、誠にありがとうございました。

全鉄筋2024年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」
建設マスター顕彰者9名は、以下の通りです。

- ・北海道鉄筋業協同組合 國井 角成様 (株式会社旭都鉄筋工業所)
- ・秋田県鉄筋工事業協同組合 小柳 倫様 (株式会社豊和鉄筋産業)
- ・協同組合東京鉄筋工業協会 松田 優作様 (飛田鉄筋工業株式会社)
- ・山梨県鉄筋工事協同組合 丸畑 浩行様 (株式会社沼田鉄筋)
- ・長野県鉄筋業協会 小林 義徳様 (宮尾鉄筋株式会社)
- ・関西鉄筋工業協同組合 佐々木龍介様 (株式会社関西スチールフォーム)
- ・広島鉄筋組合 松尾 隆様 (株式会社坂本工業)
- ・山口県鉄筋工業協同組合 濱野 誠様 (宮本工業株式会社)
- ・沖縄県鉄筋事業協同組合 玉城 悟志様 (有限会社GUSUKU)



建設マスター
國井様 佐々木様 玉城様 濱野様 小柳様 丸畑様 小林様 松尾様 松田様 飯島教育訓練委員長

全鉄筋2024年度「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」
ジュニアマスター顕彰者4名は、以下の通りです。

- ・茨城県鉄筋業協同組合 塙 真人様 (株式会社大平組)
- ・協同組合東京鉄筋工業協会 種山 匠様 (フルノ鋼業株式会社)
- ・神奈川県鉄筋業協同組合 山田 貴史様 (株式会社スチール・ワン)
- ・愛知鉄筋業協同組合 松本 亨様 (株式会社マツモトカンパニー)



建設マスター 全鉄筋外推薦
秋丸竜司様 (株式会社西村工業所)
渡邊慎一様 (有限会社渡辺工業)



ジュニアマスター
松本様 山田様 種山様 塙様 飯島教育訓練委員長

赤字になってしまふ。また、請負金額交渉の1つの項目として話せなくなると、など意見が出ました。ですが一貫して出向単価は請負契約単価が大きく関与している。その時期の情勢によって流動的に決定したいという意見が多数聞かれました。現時点ではその時期の景気や周囲の単価の情報を把握し前に挙げた環境に留意して慎重に決定していく事が重要だと思われまふ。2つ目の項目としてCCUSのレベル別によって出向単価を変える事について現時点ではどう思うか話し合いました。実際に番割、社内教育を実施している方が多く、賛否両論意見がでまふ。単価の基準を作る為にも良いと思う。など賛成意見の一方で判定基準が経験年数や取得している資格によって判定されているウエイトが大きいので同レベル判定の職人でも同じ作業能力者とは限らないので出向を受ける側は前もってそこを理解しておく必要がある。や、例えばやる気のある若い職人が短期間でレベル4クラスの技術力を有しても資格が取れるまで、経験年数が足りるまでレベルが上がれない。レベル判定がもし、給与に影響を与える事があれば、待っている間にやる気をなくしてしまうのではないかと、などの意見が聞かれました。実際、全職人の仕事に対する姿勢を確認する事は決まっています。そうなることや、経験年数、取得資格での判断になってしまふのは仕方がない事だと思ひます。レベル判定を基準に以前連絡会で話あった社内評価制度など活用し、社内でのレベル判定を作つてはどうかなどの新たな意見も聞かれました。出向制度、CCUS共に様々な各地区の思ひている事を聞く事が出来まふ。これから先、出向単価、CCUSの情報を確実に理解し、自社にとって有利に活用していく必要があると思ひます。



ハラで裁判、保証金を支払わなければいけなくなれば莫大な資金が失われてしまひます。そういった内容と生まされた世代別に分けてその世代の一般的な特徴も教えて頂きました。この年代の子はこう言つた特徴のある世代だと知つて接する事で指示、指導を円滑に進める事が出来るようになると思ひます。

今回の会議では全鉄筋の諸先輩の方々が色々な政策、対策で尽力して下さりリーマンショックの時と比べ、社会保障制度も充実され、大きく単価が上昇しまふ。そこで得た大切な資産を色々なリスクから守る為の方法のひとつとして新規入職者数の伸び悩んでいる中、今在職してくれている社員に長く働いてもらう為の方法のひとつとして講演をして頂きました。グループワークでも、これからの色々な単価設定に関する皆さんの意見やCCUSに対する皆様の意見や、理解度の重要性を学ぶ事が出来まふ。

結びになりますが、何度も幹事の方々と打ち合わせを重ね、北海道青年部の協力も得てやつと思ひで開催する事が出来まふ。ご協力して頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。今回の会議で得た、講演、グループワークで出た意見、新しく得た人脈を大切に、今後の活動の参考にして頂ければ幸いです。



日本の建設業務体験会

Japan Construction Industry Hands-on Workshop

●主催：一般社団法人建設技能人材機構(JAC) ●鉄筋ブース：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 ●日時：2024年8月24日(土) ●会場：インドネシア コンベンションエキシビション(ICE) シティ
高校生4名+先生1名=5名×4校=20名とインドネシア学校関係、役所関係100名の来賓を招き建設業の体験と解説

鉄筋ブース



大人気だった結束バトルコーナー



鉄筋の種類、重さ体験コーナー



30cmに切断された各種鉄筋の材質重さを体験していただいた



足場ブース



型枠ブース



VRブース



小寺委員長

全鉄筋スタッフ10名



アンワール・サヌシ次官を案内する山本専務(JAC)



自動結束機VS手ハッカー実習生1人VS日本人2人



東日本大震災での被害と学校の屋上に避難した子供たち命を守る大切な役割を担った鉄筋工事業！！



初代パワー編集委員の矢島です。当時は40歳、あれから23年もたちました。日本の建設技術も機械化が進みここ数年でICT化が進み目覚ましく変わってきています。今回、全鉄筋より依頼を受けインドネシアにて鉄筋工事のコーナーを委託されました。結束と鉄筋の切断、曲げの依頼を受けたのですが、打合せを繰り返していく中で20年前に茨城の青年部が実施した重さ体験や東京の青年部が作成した鉄筋の役割DVD(鉄筋が入っているコンクリートと入っていないコンクリートの割れる解説)を思い出しインドネシア語に吹き替え、パネルにて東日本大震災で津波から鉄筋コンクリート造の学校の屋上に避難した子供たちや、我々鉄筋工事の【命を守る大切な役割】を解説、そして現在日本で活躍している技能実習生たちの作業状況の写真、日本の観光地で撮影した集合写真などを掲示紹介をしました。

結束のバトルコーナーでは実習生1名(自動結束機)VS日本人職人2名(手ハッカー)で競争し、なんとインドネシアの技能実習生が勝ち来場者から盛大な歓声があがりブースの中でも好評でした。

JACからのお礼メール

この度、紀谷ASEAN大使が大変感動されたとのことで、特にご自身のXにその感想を書かれたことをお伝えさせていただきます。紀谷大使にこのような深い印象を与えたことは、我々にとって大変光栄なことです。

Thank you

山本様
先刻はどうもありがとうございました。アンワール・サヌシ次官の出席、熱意あふれる建設会社社長の説明やインドネシア人の若い技能労働者の活躍で、大変盛り上がるイベントだったと感じました。これから広く報道されるよう願っています。

全国女性技能者懇談会 開催について

懇談会 つなごう女性鉄筋工の和
日時 令和7年2月28日(金)
15:30~
集合 福岡県鉄筋事業協同組合
会議室
住所 〒812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南
6丁目8-30 トピレック博多810

編集後記

2024年10月6日富士教育訓練センターにて第5回全国鉄筋技能大会「TETSU-1 GRAND PRIZE」が開催された。YouTubeでLive配信されていたので、今年度はLive配信で応援させていただいた。

出場者が緊張した面持ちで競技が開始され、画面越しで見ているこちらまで緊張が伝わるほどだった。その中で、各選手のメッセージが読み上げられた時、1人1人のドラマがあり背景が見えるようで、ぐっと来るものがあった。

そして、第2回大会の幕張メッセで開催されたときに、弊社社員が出場した時の事を思い出した。

選手コメントが読み上げられるとは知らず、選手の家族と静かに見守っていた。そんな時に読み上げられたコメントが会社と同僚仲間に対する感謝と家族へのコメントだった。この大会に向けて遅くまで練習する選手を支える家族と仲間の事、選手が練習しやすいようにと社員みんなで協力した事などいろいろな事が思い出され、さらに応援する思いが選手に伝わっていたことが分かり、とても嬉しかった事を覚えている。結果がどうあれ目標に向かい一致団結し、共に頑張った事でさらに社内の結束力も強まったように思う。

1位を取る事だけが答えではなく、社内の雰囲気も変わる事、選手や周りの意識が変わるのもこの大会の魅力かもしれないと思う。

今大会で満足いく結果にならなかった選手もいるだろうが、大会で得るものは出場しなければ分からないものが多いと思う。この大会が長く継続していけるよう会員一同切磋琢磨していければと思う。
宮本 ゆり子

編集委員

- 委員長 岑 直樹(宮城)
- 副委員長 宮本ゆり子(山口)
- 木浪 裕子(北海道) 矢竹 直司(東鉄協)
- 工藤 桂一(神奈川) 松本 勝(静岡)
- 田浦 真一(関西) 赤澤 栄徳(香川)
- 女性活躍推進(兼任除く)
- 皆川 則子(北海道) 斎藤 淑江(東鉄協)
- 駒井 真里(神奈川)